



# 多文化共生のまちづくりを進めています

本市では、だれもが暮らしやすいまちを目指して多文化共生の取り組みを進めています。今年度行った取り組みの内容などを紹介します。

## 「生活支援(防災対策の推進)」に向けた取り組み



### 災害時における広報活動等に関する応援協定締結(4月1日)

公益社団法人青年海外協力協会 (JOCA) と災害時の外国人への広報活動について協定を締結しました。大規模災害が発生した際には、翻訳・通訳の支援や各国大使館および領事館との連絡調整などを担っていただけることとなり、外国人への広報活動について全国的なネットワークによる支援が受けられるようになりました。

## 「多文化共生の地域づくり」に向けた取り組み

### 共生と平和に関する三都市共同宣言(9月13日)

在仏日本国大使館において、鈴鹿市、ル・マン市、ユースダール市(スウェーデン)の3都市が参加し、それぞれの都市における多文化共生に関する現状と課題について報告や意見交換を行いました。その後、お互いに情報共有を図り、平和な社会の構築に向け努力することを確認するため「共生と平和に関する三都市共同宣言」を採択しました。



### 鈴鹿日本語交流会と多文化共生を考える集い(1月26日)

地域における日本語学習支援と多文化共生について考えるイベントを、牧田地区地域づくり協議会や市などが協働して開催しました。アーナンダ・クマールさん(鈴鹿国際大学教授)による基調講演や、パネルディスカッションを行い、多文化共生のまちづくりの進め方について考えました。

また、ラテン音楽を聞きながら、外国の料理を食べたり踊ったりして、参加者みんなが交流を楽しみました。

## 多文化共生とは…

私たちは、それぞれ「ちがい」がたくさんあります。多文化共生とは、国籍・民族・文化の「ちがい」を認め合い、だれもが暮らしやすいまちにしていけることです。

多文化共生推進の取り組みの中で、時に摩擦や衝突が生まれることもあります。一方で、新しい「気づき」があったり、問題を「克服する力」が身に付いたり、一緒に解決しようとする協力者との「出会い」が生まれます。このような経験をいくつも重ねていくことで、着実にだれもが暮らしやすいまちに近づいていきます。